

令和7年度 第1回一関清明支援学校「公開講座」報告

令和7年度一関清明支援学校公開講座「病弱・身体虚弱児童生徒の理解と支援」を7月29日(火)に本校舎で開催しました。病弱教育の経験がある本校職員が講師を務め、校内・校外合わせて11名の先生方にご参加いただきました。

当日は、「病弱・身体虚弱の子どもの理解」や「病弱・身体虚弱の子どもの指導」の基礎的な内容と、本校の本校舎と山目校舎の取り組み(自立活動の事例紹介)について紹介しました。

参加者の方からは、「病弱・身体虚弱の定義から始まり、基本的な指導や気を付けることなど、何年経っても基となることが確認できた。」や「2学期は自立活動を児童の実態に合わせて考えていきたい。」、「日常の諸活動において、本人が病気の特徴を理解し、自分の心身の状態を自分で判断し、活動を選んでいけるように支援していくことの重要性を感じた。」などの声が聞かれました。

～講義の内容を一部ご紹介します～

講義①「病弱・身体虚弱児童生徒への支援」より

病弱・身体虚弱とは

病弱とは、心身が病気のため弱っている状態をいう。

身体虚弱とは、病気ではないが身体が不調な状態が継続して起こる、又は繰り返し起こる場合に用いられており、例えば風邪のように一時的な場合は該当しない。

文部科学省(2022)「障害のある子供の教育支援の手引」 4

講義②「山目校舎の取り組み」より

5身体の動き

手を使おう

衣服の着脱におけるボタンの着脱やはさみなどの道具の操作の練習



○意欲的に活動に取り組み、道具等の使用に慣れていけるように、興味や関心をもてる内容や課題を工夫し、使いやすい適切な道具や素材に配慮する。
※衣服の着脱におけるボタンはめや、はさみなどの道具を円滑に操作するために、「5身体の動き」に加え、「4環境の把握」等の区分の項目の中から選定し、関連付けて具体的な指導を考える。

講義③「本校舎の取り組み」より

中学部の実践 3

- ・自己理解についての学習 (健康の保持、心理的な安定)
 - ・自分新聞づくり
 - ・手帳の活用
 - ・障がい理解
 - ・課題探し
- ・ゲームを活用したSST (心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、コミュニケーション)
- ・生活力の向上 (環境の把握、身体の動き)
 - お金の使い方
 - 書くこと、聞き取ること、伝えることについて



[問い合わせ先]

TEL 0191-25-3210

担当:相談支援部・山目校舎小学部 森 智美